

敬老の心で長寿を祝う

市内各地区で敬老会が開かれる

市敬老会が9月5日から18日まで、市内11地区で開催されました。

敬老会には、市内在住の75歳以上の高齢者の皆さんを招待。対象者5,953人中1,932人が出席しました。式典では、77歳の人には市から記念品を、

89歳の人には卒寿記念として平館高校家庭クラブから手作りの紫薫枕が贈呈されました。

祝宴では、地域の子どもたちが練習した歌や踊りが披露され、参加者は楽しいひとときを過ごしました。

出席者のうち最高齢103歳の佐藤春治さん(荒屋地区)



写真上：自分の似顔絵と花のレイをおばあちゃんにプレゼント(平館地区)



写真下：平館高生より紫薫枕を記念贈呈(松尾地区)



安代小2年生による元気いっぱいキッズソーランが披露されました(荒屋地区)

お酒を酌み交わし楽しく歓談(平館地区)



地域の高齢者に感謝の手紙を書く学童児童(写真上：田頭、下：大更)



学童児童たち 敬老の心に触れる

市内学童保育クラブでは、敬老の心に触れる取り組みを実施しました。9月上旬、大更・田頭・渋川のクラブでは、地域の高齢者に対する感謝の手紙を作成。作成した手紙は地区老人会を通じて各高齢者世帯に配布されました。9月26日には、柏台の学童児童たちが地区老人会の会員とグラウンドゴルフで交流を楽しみました。

おじいちゃん、おばあちゃんに気持ちが届くといいな



地区老人会員とグラウンドゴルフを楽しむ柏台学童の児童

